フジパングループ Presents 2017ロバパンCUP
第49回全道（U-12）サッカー少年団大会十勝地区予選 兼 十勝スポーツ少年団サッカー大会
監 督 会 議

期日　2017年6月29日（木）　19時　場所　十勝プラザ401講習室

【1】 参加チームの確認（39チーム）　　無断欠席　啓西
足寄・池田・稲田・浦幌・SSJr・大空・音更Jr・音更Un・帯広Jr・帯広中央・帯広FC・帯広若葉・
開西つつじが丘・上士幌・川西・啓西・光南・札南・士幌・清水・新得・鈴蘭・大樹・白人・西帯広・中札内
広尾・ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｿ・本別・豊成・幕別札内・御影・緑ケ丘・明星Ｈ・明和広陽・芽室A・芽室B・陸別・緑陽台

【2】 競技関係の確認事項
① 開催要項の確認
(1)参加資格　開催要項のとおり
(2)競技規則　開催要項のとおり
(3)競技方法
勝ち上がりを３チームブロックの１位から３チームブロックと４チームブロックの１位に変更

② ユニフォーム色の確認
当該チーム同士でフィールドプレーヤーとキーパーのユニフォーム色の確認を行っておき、同系色と認めた場合に
お互いで対処すること。（疑問に思った場合は必ずどちらかが交換することとし、試合開始直前に指摘され行うこ
とのないように注意すること。）　ＧＫの色も確認し、子供達が確実に判別できるようにすること。
同系色の色で試合を行ってはならない。

③ ベンチの位置等
ベンチ入り人数は、役員４名以内、交代要員８名以内（例外規定あり）とする。
２チーム参加の場合は、役員、選手が重複してベンチ入りすることはできない。
リーグ戦においてはブロック左側の若番が、トーナメント戦はブロック左がコートに向かい左側に位置すること。
テクニカルエリアを設けていないため、ベンチがテクニカルとなるので過剰に出過ぎないように注意すること。
繰り返し違反した場合は主審の判断により退席処分とする。
ベンチサイドは該当チームの登録選手・指導者・審判員・役員・記録員のみが出入りできる。

④ 選手エントリー及び背番号について
（選手証の確認）初日(7月1日) AM 7：50より随時本部において行う。
自チームの第一試合前に必ず確認を受けること。
全道大会において「参加チーム」及び「参加選手」は、当該チームの地区大会への登録選手が１６人に満たない
場合は、「加盟チーム」内の選手の中から補充することができる。２チーム参加の場合を含む。
ただし、移籍の補充は下記のとおり認めない。
（同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。）

⑤ 会場使用のありかた
〇駐車場は駐車証の掲示を義務付けるとともに所定のとおり駐車すること。リーグ戦においても正しく駐車証を
掲示している車は20パーセント程度しかいない。
〇車上荒らしに注意すること。(貴重品が入っていると思わせるようなものを車内に置かない。)
自己管理、自己責任である。
〇駐車場の場所取り、テントの場所取りを禁止する。〇テントは必ず固定し一日ごと撤収すること。
〇アップ会場は所定のコート中央とし、それ以外の場所は禁止する)
〇アップ時のマーカー、ラダーの使用を禁止する。（場所の使い過ぎ、芝の集中損耗防止のため）
〇喫煙箇所以外でタバコを吸わない。土手下等で吸っている人が散見される。
〇７月１日は高校野球決勝があるため駐車場の混雑が予想される。できるだけ芝生広場を使用し奥から順次駐車を
お願いしたい。

⑥ 監督の指示及び父母等の応援について
父母席からの指示を禁止する。
その都度ただ１人の指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
監督またはベンチ役員が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に再度異議を示した時は、主審の
判断により退席処分とする。

⑦ その他
ベンチ及びベンチテントは子供たちのために用意しているものです。子供たちを地面やテント外に座らせることの
ないようにしていただきたい。暑熱下におけるテント外での試合前後のミーティングは子ども達の事を考え最低限
にすること。
水分は試合20～30分前に所定量の補給を忘れないこと。帽子も必需品と思われる。
大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。

【3】 審判
① 4人審判制で行う。
② 3級以上帯同制　3級不帯同　若葉、中札内
③ 割り当て
④ 原則として、試合当日になって申込書に記載された審判を変更することはできない。
また、審判割り当て送付後の変更は原則認めない。
(指導者が審判を兼ねる場合、審判業務を優先する。～登録審判が会場にいる場合は変更できない)
※審判服を着たままベンチに座ることのないように。上に何か羽織るか上着を脱ぐかで対応。
⑤ 不帯同審判料は大会当日、自チームの試合前に支払いを済ませること。
⑥ 二日目決勝トーナメントはすべて協会審判員が行うため帯同制ではない。

【4】 組合せ抽選

① シードチームの確認

全日本少年サッカー大会十勝地区予選前期リーグ１位の4チーム。
プログレッソ、大樹、鈴蘭（1,24,38）、札南（11,27,34）
以上の４チームを上記のようにシードすることを監督会議参加者より了承を得た。

② 複数参加チームの配慮

芽室
音更ユニオン（申し出）

音更ユニオンより申し込み時に２チーム参加で申し込みを行ったとの申し出があったが、現状では受付時点での再確認ができないため監督会議参加者の同意により認めるものとした。
それにより、1チーム増しとなるためＫブロックを３チームから４チームに増やし、３４～３６までだった抽選番を３４～３７までとし、３７～３９のＬブロックを３８～４０に変更した。当初、Ｌブロックの３７がシード番号であったが、番号追加により３８に変更した。
また、音更ユニオンの参加申込書にＡ、Ｂの記載がない不備があった場合で左右に記載がある場合は左をＡ右をＢとする。左右の区分けがなく、縦一列で記載があった場合は事務局預かりとし事務局で確定する。

以上、監督会議参加者で確認し、２チーム参加チームの予選同組にならないよう配慮し組合せ抽選を行った。

以上により試合時間等に変更があるため送付される組み合わせ表を確認すること。

【5】 その他

決勝トーナメント準決勝敗退チームも３位の表彰を行うので決定次第表彰を受けること。
今週のＵ－１０予選より高校野球開催のため駐車場混雑が予想されることから、サッカー関係者は芝生広場を利用順次奥から整列しマナーの良い駐車を心掛けていただきたい。